

市町村における個別避難計画の作成への支援

1. 目標

取組内容	(年度)				
	R 3	R 4	R 5	R 6	最終目標
優先度が高い方の「名簿提供への同意」の促進 (同意取得率)	67.9%(実績)	73%	76%	80%	100%
優先度が高い方の「個別避難計画」の作成 (計画作成率)	35.8%(実績) ※L2浸水区域 県全体 45.8%	50%	65%	80%	R 7年度 100%

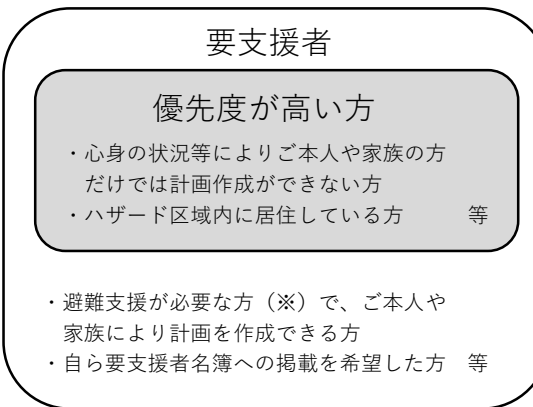
※国の動き

- ・ R3年の災害対策基本法の改正により、「個別避難計画」の作成が**努力義務化**
- ・ 市町村が「**優先度が高い**」と判断した方は、概ね**令和7年度まで**に計画を作成
- ・ 改正を受けて、市町村において「**優先度が高い方**」を精査

2. 現状

※県全体	要支援者	優先度が高い	同意取得者	同意率	作成数	作成率
R3. 3. 31時点	55,961人	-	35,984人	64.3%	7,595人	21.1%
R4. 3. 31時点	50,678人	15,506人	10,527人	67.9%	4,821人	45.8%
高知市	37,417人	6,581人	4,175人	63.4%	325人	7.8%
高知市以外	13,261人	8,925人	6,352人	71.2%	4,496人	70.8%

【避難行動要支援者のうち優先度が高い方のイメージ】



(※)

- ・ 要介護度3～5の高齢者
- ・ 身体障害者手帳2級以上を所持する身体障害者
- ・ 精神障害者手帳1級を所持する精神障害者
- ・ 重度以上と判定された知的障害者
- ・ 市町村の生活支援を受けている難病患者 等

黒潮町の取組

- ①行政が個別避難計画の基本情報を整理
- ②介護支援専門員等の福祉専門職が心身の状況等を整理
- ③地域調整会議の開催 (行政、社協、地区、福祉専門職、あったか等)
- ④計画(案)の完成 → 本人・家族への確認 → 計画の完成
- ⑤避難支援関係者へ計画を配布
- ⑥避難訓練の実施 状況に応じて計画の見直し

3. 今後の取組

(1) 同意取得率の向上 市町村で取組状況のバラツキがあるため、地域の実情に沿って個別に支援

◆同意率 (優先度の高い方)

80%以上	79~50%	49~10%
19	11	4

- ・ 「要支援者」と「優先度が高い方」が同数となっている市町村もあり、「優先度が高い方」の精査 及び 同意取得 について、個別に支援 (R3年度：要配慮者の避難に関する福祉・保健・防災連絡会 16回開催)

- ・ 福祉専門職の参画を促進するため、市町村と事業所との協定等の締結を支援 (高知県介護支援専門員連絡協議会と県との連携強化)

(2) 計画作成率の向上

◆計画作成率 (優先度の高い方)

80%以上	79~50%	49~10%	10%未満
19	8	6	1

- ・ 福祉専門職の参画を促進するため、市町村と事業所との協定等の締結を支援 (福祉専門職参加に係る委託料、報償費、謝金等を支援)

- ・ 「黒潮町」の事例を参考に、実効性が高い計画作成を個別に支援 (研修会の開催)

(市町村数)

(市町村数)